

うさぎとかめ通信

上越市立高田幼稚園

(週刊：園長室だより) 106周年

令和4年4月28日

第145号

「思い→体験→表現」は、幼児・児童・生徒に一貫する、遊び・学びの基本です。

子どもの姿から

【真ん中にいるのはシロイルカ】→

20日(水)に、畑にじゃがいもの種芋を植えました。うめ組とまつ組の皆さんが、溝の中に種芋を入れて土を優しくかぶせました。もも組の皆さんはその姿を見ていました。去年は7月15日に掘り出して、316個収穫しました。今年も大収穫の時期が楽しみです。



21日(木)に、避難訓練をしました。今年度初めての避難訓練ですから、まず遊戯室に集まり、避難訓練の目的や大切さを理解しました。火災報知器の警報ベルもみんなで聞きました。それぞれ真剣な表情でした。「大切な命」を守ります。

園庭・園舎から

【目覚めてすぐに元気なカメ】→

20日(水)、小さいカメが冬眠から目覚めました。暖かくなったので、冬眠していた小さいカメが動き出しました。大きいカメはまだです。目覚めてすぐに、もも組の皆さんから大歓迎を受け、シャワーを浴び、水槽もきれいにしてもらってカメはすこぶる快調でした。もも組さんは、カメやカニ、ダンゴムシなど、生き物に興味がありますね。ちなみにオカダンゴムシは、節足動物門の甲殻類なので、エビやカニの仲間です。ほとんどが海産の甲殻類の中で、オカダンゴムシは究極の陸上化の進化をなしとげたそうです(参考：豊田市矢作川研究所「月報」2009年4月号)。25日(月)には、新たにアブラハヤとコガムシも玄関飼育の仲間入りをしました。



伝統の五月人形を遊戯室に飾りました。大正期のものらしく、様々な人形がステージ上に並びました。桃太郎や金太郎、鍾馗、兜など子どもたちを病気や災いから守ってくれそうな迫力です。絵幟も見事なものです。

キーワード

【カップの4時の位置にダンゴムシ】→

〇ちまきと柏餅

端午の節句の食べ物といえば、ちまき(粽)と柏餅です。主にちまきは関西で、柏餅は関東で食べられるそうです。

ちまきは、端午の節句とともに中国から伝来し、平安時代には宮中行事として食べられていたそうです。チガヤの葉で巻いたことから茅巻き(ちまき・粽)になったようです。

柏餅は、江戸時代から端午の節句で食べられたそうです。柏は神聖な木とされ、柏餅は縁起のよい食べ物となったようです。今は甘い小豆餡ですが、昔は塩餡や味噌餡が普通でした。

(参考：AllAbout暮らし、食育大事典のサイト)

